

ダウンロードユーザー特典

IT担当が知っておくべき LCMサービス導入メリット 5選

テレワーク拡大でIT担当者の業務は増加傾向。情報漏洩対策や法令遵守、ヘルプデスク対応に加え、IT人材不足やセキュリティ脅威への対応が課題です。本資料では課題解決策となるLCMについてご紹介をしています。

2024年版



増加するIT担当者の業務内容と企業リスク

近年、テレワークやIT化が進み、社外で業務を行う機会が増えています。情報システム部門は、社内・社外を問わずIT資産を一元管理し、サイバーセキュリティに対する最新情報を入手した上で情報漏洩対策の実行、各種法令違反などのリスクを抑え、更に社員からの質問などのヘルプデスク対応も必要になります。

一方で、専門知識を有したIT人材の不足、社員一人ひとりがパソコンやスマートフォンを所有し管理すべきIT機器が増加、更にセキュリティ脅威の変化や各法改正への対応など、業務負荷は増加傾向にあります。IT担当者は、これらの負荷増大、新しい情報の入手と対応、資産管理など、専門領域の課題に直面していることでしょう。



LCMサービスを導入するメリット 5選



1 メイン業務への集中

競争が激しい現代のビジネス環境では、限られた人材を本業に集中させることが重要です。LCMサービスを利用することで、IT機器の運用管理業務をアウトソーシングでき、専門知識を有したIT人材の有効活用が可能となります。



2 最新技術の利用

IT技術は日進月歩の進化を続けており、新しい技術が次々と登場しています。LCMサービスを導入することで、古くなった機器を的確に更新できます。また、専門家のサポートを受けて最新技術を取り入れることもできます。



3 IT投資コストの適正化

LCMサービスを導入することで、IT投資の見える化が可能となります。月々の支出を平準化するなど、コストの適正化と予算計画の立案を支援します。



4 セキュリティの強化:

IT機器は一般のオフィス機器とは異なり、セキュリティ面での基準が求められます。ずさんな管理は情報漏えいや外部からの攻撃の原因となり、社会的信用を失いかねません。LCMサービスを導入することで、リスクの把握や適切な対策が可能になります。

5 急な増員（減員）にかかるコストを削減

企業の規模変動に伴う急な増員や減員に対応するためには、IT資産の調達や運用管理に柔軟な対応が求められます。LCMサービスを導入することで、コストを削減しながら適切な対応が可能です。

LCMサービスとは？

LCMサービスは、IT資産管理においてデータ管理やIT機器の効率的な運用を実現するために注目されているサービスです。

専門知識を有した企業へIT機器運用をアウトソーシングすることで、IT担当者の業務負荷軽減、セキュリティの強化、資産管理に活用でき、IT人材の不足を補助し、IT担当者の業務効率の向上が期待できます。

導入前の課題

- IT資産の選定・調達・設定・運用・展開・管理・廃棄の工程が煩雑。
- 専門知識のあるIT人材が必要。
- ヘルプデスク対応で業務の時間を割かれる。

導入後に期待される効果

- IT資産運用を外部委託できるため、担当者が基幹業務に集中でき、業務品質や生産性の向上が期待できる。
- セキュリティ強化による情報漏えい防止効果。
- 修理、更新、調達など一元管理による見える化で予算管理を適正化。Etc….

LCMサービスの概要

LCMサービス（ライフサイクルマネジメントサービス）は、IT資産の調達から処分までの一連の工程を効率的に実施し、IT担当者の業務効率化や企業のセキュリティ強化、IT資産管理に寄与します。

1. 計画



専門知識を持つ担当者が仕様策定や機器選定を支援。適切なハードウェアを選ぶ手間やリスクを軽減できます。

2. 調達



計画で選定したIT資産を調達します。LCMサービスを利用することで調達の手間や漏れを軽減できます。

3. 導入



調達したIT資産を利用できるように設定する作業です。専門的な知識がない場合でも、LCMサービスを利用することで安心して導入できます。

4. 展開・運用



IT資産ライフサイクル全体を一元的に管理することで、セキュリティ強化や不要なソフトウェアの削除、また資産管理に活用できます。

5. 保守



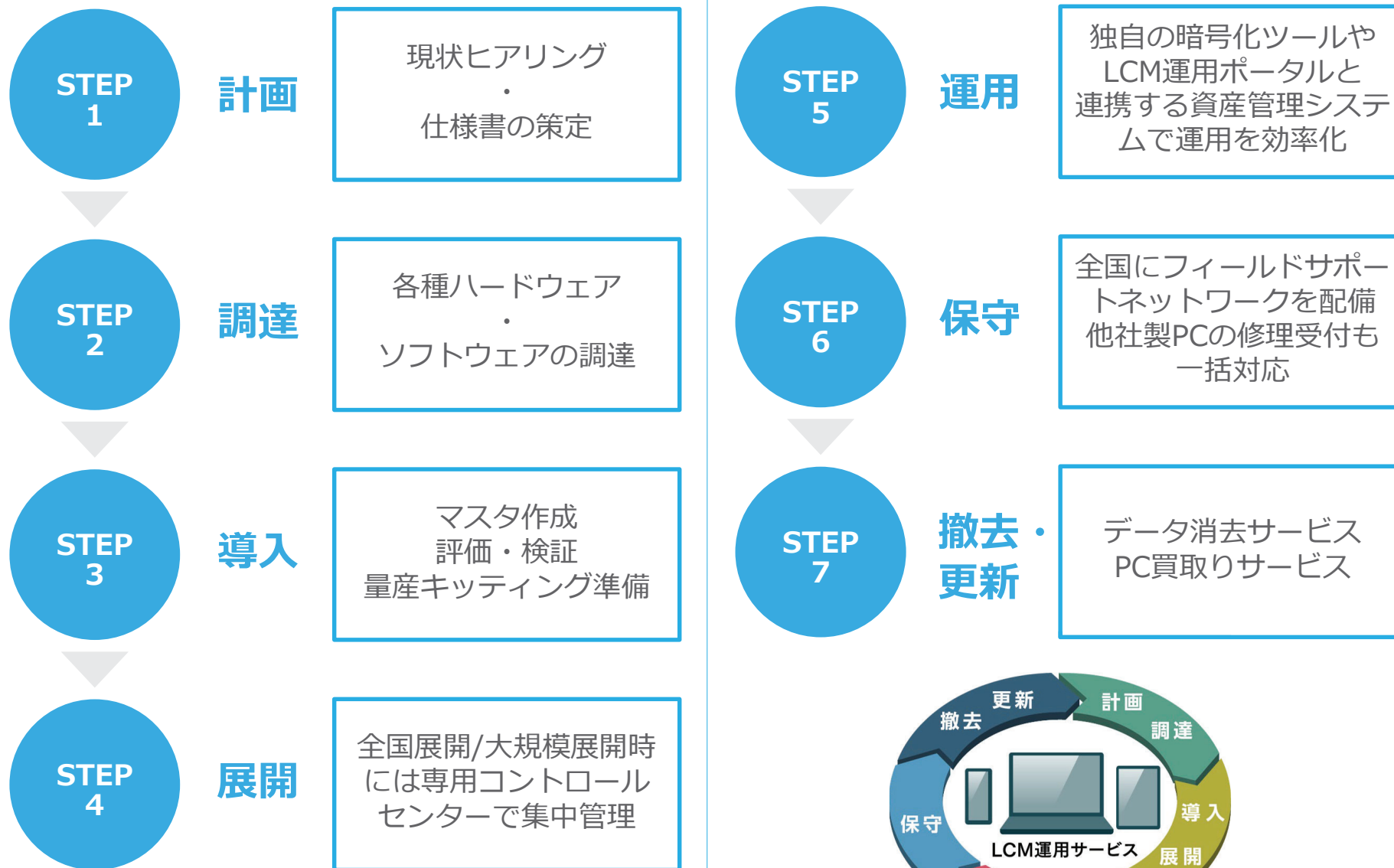
全国で対応できるフィールドサポートネットワークによるスムーズな保守対応が可能。

6. 撤去・回収



IT資産の廃棄に関する作業です。LCMサービスを活用することで、データ削除漏れを防止。廃棄物の適切な処理を行い環境への配慮をすることで企業の社会的責任を果たすことができます。

Dynabook LCM運用サービスの導入ステップについて



DynabookのLCM運用サービス 特長 5 選

特長① DynabookのLCM運用サービスは、ワンストップで計画～撤去・更新までサービスを提供。

特長② PCメーカーならではの視点で、PCの運用に寄り添って相談に対応。

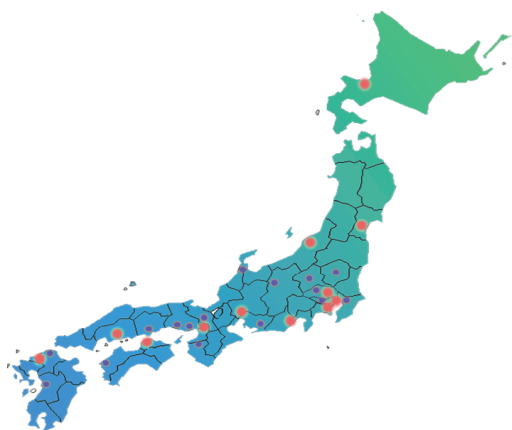
特長③ 他社製PCやスマートデバイスの運用もお任せ。



特長④ 約40,000台/月産の生産能力

Dynabook PC総合サポートセンター

PCのライフサイクルに関わるさまざまな業務を同一建屋に集約させ、的確・スピーディにワンストップサービスを提供。リードタイムの短縮や輸送コストの削減を実現します。



特長⑤ 全国に自社運営のフィールドサポート網を完備

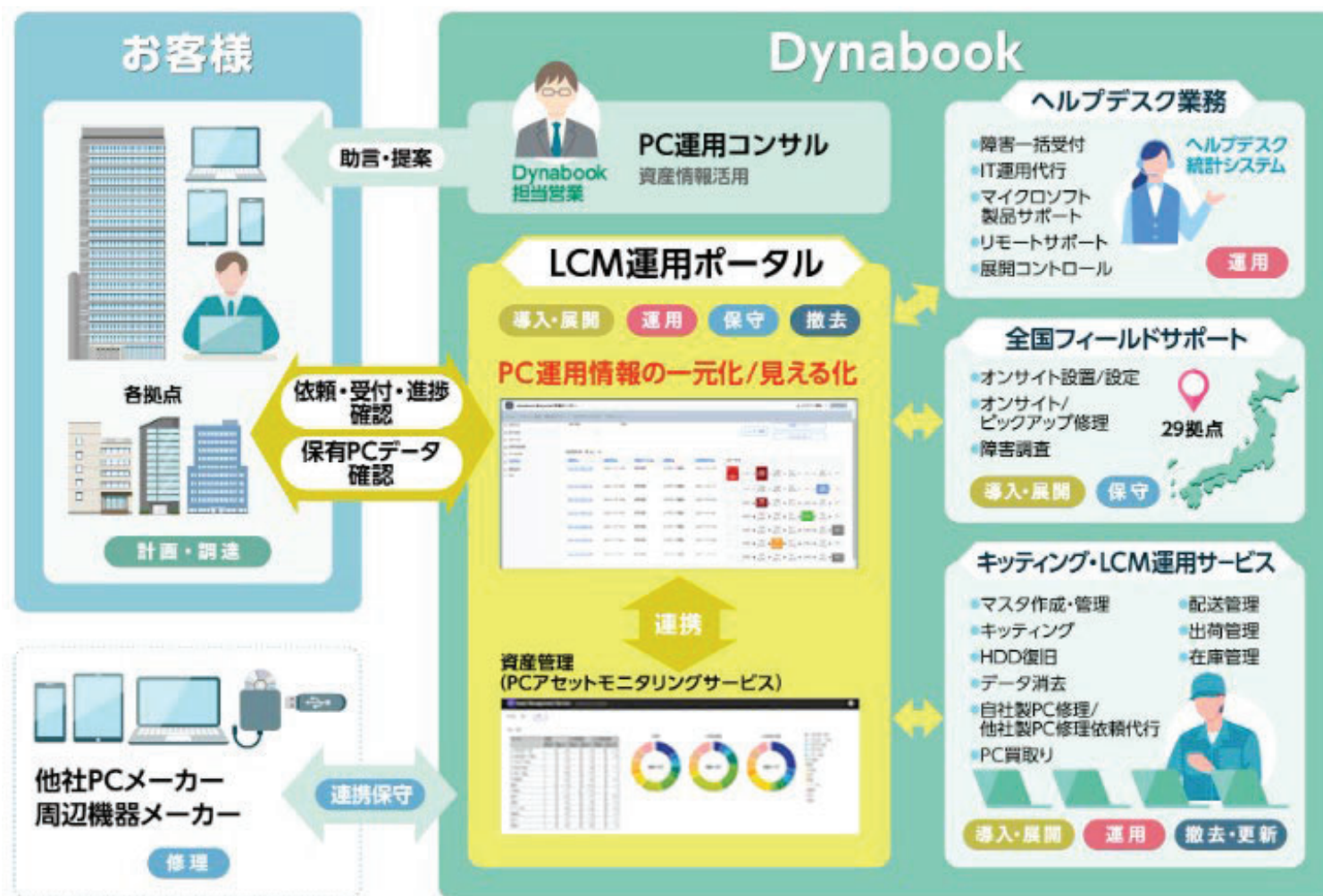
全国29拠点のフィールドサポートネットワークを活用しお客様拠点への高品質なサポートをご提供します。

障害発生時はPC設計・品質管理部門と連携し迅速な解析と対応を実施。

DynabookのLCM運用サービス 運用イメージ

LCMの依頼から完了まで作業の進捗状況をLCM運用ポータルで一元管理。

LCM運用ポータル上で依頼を受付、回収・キitting・配布作業などを行います。



LCM運用サービス メニュー

導入企業に合わせ、サービスメニューの組み合わせが可能。

例) 「PC買取り・廃棄サービスのみ利用したい」など

無駄のないLCM運用サービスをご検討ください。

メニュー名		サポート内容
計画 調達	仕様・選定	ハードウェアとソフトウェアの選定、評価、動作検証を実施
	計画立案	展開および保守・ヘルプデスク、LCM運用の計画案を作成
	調達	ハードウェアとソフトウェアの調達(他社製PCも対応)
	計画調整	供給スケジュールの確認と調整
導入	キッティング	マスタイメージ作成
		Windows PCキッティング Microsoft
		スマートデバイスキッティング
		Autopilot と Intune による キッティングの自動化
展開	集合梱包配送、付属品同梱/抜き取り	
	展開	
	現地導入設置	



メニュー名		サポート内容
 運用	ヘルプデスク (OnSite/OffSite)	クライアントPC LCMサポート受付
		クライアントPC LCMサポートの受付業務(WEB受付)
		端末保守(修理)受付
		端末故障時の受付業務(他社製PCの修理受付代行を含む)
		ハードウェア障害切り分け
		ハードウェアとソフトウェアの障害切り分けとメール・電話でのヘルプデスク対応
	運用サポート	OS／Office操作問合せ
		Microsoft WindowsやMicrosoft Officeの操作方法の問い合わせに回答
		アプリケーションサポート
		アプリケーションの操作方法についてサポート
		ワンストップサポート
		端末や周辺機器、アプリケーションの障害における原因切り分けと対応のエスカレーションを実施
		端末出荷・配送
		キitting済みの端末や付属品の出荷・配送
		端末回収・受入
		キitting済みの端末や付属品の回収・受入
		端末の保管・在庫管理
		お預かりの端末や付属品の用途と状態別に保管管理
		マスタイメージ更新
		定期的なマスタイメージの更新と検証作業
		棚卸し業務
		お預かり資産在庫データと実機の照合と台帳管理
		管理シール作成・同梱品
		ご指定の管理シール作成や同梱品の追加や抜き取りなど
 保守	端末修理	
	Dynabook製PCは自社修理対応、他社製PCは各ベンダー窓口へ修理依頼の代行を実施	
	修理返却PCの再セットアップ	
	修理返却等により設定情報が初期化されたPC端末の再セットアップ作業	
 廃却	入出荷／進捗ステータス	
	専用の運用ポータルにより、リアルタイムに状況確認が可能	
	運用統計	
	月次・年次の運用実績について提示(定例会を実施)	
 保守	オンサイト修理	
	現地で技術者が故障PCの修理を実施	
	ピックアップ修理	
	故障PCを回収、弊社修理センターにて修理	
 保守	代替PC設置	
	現地に技術者を派遣し、代替PCとの入れ替え、個別設定、動作確認を実施	
	データ復旧	
	ハードディスク障害時など、データ修復・復旧サービスをご提供	
 廃却	撤去	
	機器の撤去・回収作業	
	データ消去	
 廃却	ディスクデータ消去の代行	
	端末の返却・廃棄手続き・買取り	
	リースアップや資産償却で不要になった端末や付属品の各引取り処理の代行(返却・廃棄手続き・買取りサービス)	

Dynabook株式会社

LCM運用サービスについて

資料請求・商品紹介などお気軽にお問合せください。

◆お問合せ

<https://dynabook.com/business/contact.html>

※本資料は2024年6月に作成されています。最新情報については当社担当営業までお問合せください

※Intune、Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Androidは、Google LLCの登録商標または商標です。

※Macは、Apple Inc.の商標です。

※その他の本資料に記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。